

平成16年3月期 決算短信

平成16年5月10日

・会社名 クラレトレーディング株式会社
 ・本社所在地 大阪府中央区平野町二丁目5番4号
 ・問合せ先 総務部長 山口 信義 TEL(06)6226-9140

1. 16年3月期の業績(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(1) 経営成績

(注) 金額表示は百万円未満切捨による。

	売上高		営業利益		経常利益	
	対前期増減率		対前期増減率		対前期増減率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期	106,689	6.1	1,712	3.6	1,655	3.4
15年3月期	100,603	27.9	1,652	54.1	1,600	75.0

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	対前期増減率		円 銭		%	%	%
	百万円	%			%	%	%
16年3月期	800	83.0	2,425	61	11.5	3.8	1.6
15年3月期	437	4,601.7	1,326	02	9.7	4.0	1.6

(注) 1. 期中平均株式数 16年3月期: 330,175株 (期末株式数334,000株)
 15年3月期: 330,000株 (期末株式数330,000株)

(2) 配当状況

	1株当たり年間配当金	内 普通 配 当	内特別配当
16年3月期	250 円	250 円	-
15年3月期	200 円	200 円	-

(3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本 比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円 銭	
16年3月期	42,395	7,446	17.6	22,295	45
15年3月期	44,587	6,497	14.6	19,690	81

2. 17年3月期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中 間 期	53,000	850	830	380
通 期	108,000	1,850	1,800	850

3. 業績の概況

<全般的状況>

当期は、期後半にようやく国内景気のゆるやかな回復への動きがみられましたが、期全般的には国内景気は低迷。金融情勢も厳しい状況が続きました。このような環境下ではありましたが、当社におきましては化学品・化成品関連が健闘し、以下のとおり、前期比増収・増益の業績となりました。

- ・売上高は1,066億8千9百万円。前期比+60億8千6百万円、+6.1%の増収。売上高構成比では、繊維比率39.3%（前期比8.8%）、化学品・化成品比率60.7%（前期比+8.8%）
- ・営業利益は17億1千2百万円（前期比+6千万円、+3.6%の増加）、経常利益は16億5千5百万円（前期比+5千4百万円、+3.4%の増加）。
- ・特別損失として在庫処分損1億7千4百万円計上しましたが、当期純利益は8億円（前期比+3億6千3百万円、+83.0%の増加）となりました。

本年度は以上の業績を踏まえ、配当は1株当たり250円とさせていただきます。

各カンパニーの概況につきましては、次の通りです。

尚、平成15年4月に資材・化成品カンパニーから旧クラリーノ営業部がクラリーノ営業カンパニー、旧生活資材部と旧製品部が生活資材カンパニーとして分離独立。従いまして、これらのカンパニーの前期実績との比較は各々のカンパニーに対応する旧組織の前期実績との比較（億円未満四捨五入）となります。

以下「 」の中の名称は（株）クラレの商標です。

<衣料カンパニー>

売上高は262億円。（株）クラレへ特需事業の移管もあり、前期比63億円、19.4%の減収となりました（内、特需事業移管により約60億円）。

- ・婦人紳士テキスタイルは、大阪を中心として市況低迷により大幅減収。
- ・ユニフォームは、製品事業と大阪の直需が堅調に推移し、スポーツ分野は学販が引続き健闘しているものの、専業が期後半苦戦。
- ・東京婦人織編分野では、フォーマル用途が順調に売上を伸ばした他、独自差別化素材「エルモザ」が本格立ち上げとなり、売上に寄与。

<資材・化成品カンパニー>

売上高は201億円。前期比+33億円、+19.0%の増収となりました（内、マイカ事業移管により約+10億円）。

- ・化学品関連は、アクリル製品・工業薬品が引続き順調に推移した他、耐熱性樹脂「ジェネスタ」が海外向けに大幅に伸長。
- ・産業資材は、ホース用途等一部の好調分野を除き、全般に既存分野が引続き低迷。

<クラリーノ営業カンパニー>

（株）クラレから国内販売事業等の移管分約25億円を加えて、売上高は86億円、前期比+30億円、+54.3%の大幅増収となりました。

- ・ 婦人衣料用途の期前半の不振を学童物及び靴資材用途の増収でカバー。
- ・ 期後半より韓国向けスポーツ・作業手袋の輸出を本格開始。

<生活資材カンパニー>

売上高は 83 億円、前期比 + 5 億円、+ 6.6% の増収となりました。

- ・ 不織布が各用途にわたり順調に推移した他、貼付薬用途が伸長し増収。
- ・ ファスニング等の既存分野が引続き低迷。

<東京営業カンパニー>

売上高は 227 億円。前期比 + 29 億円、+ 14.9% の増収となりました。

- ・ 資材・化成品分野では、産業資材・不織布等全般に順調に拡大。工業膜・活性炭等水処理分野を中心に環境関連資材が寄与して増収。
- ・ 化学品分野では、農薬原料が競合の台頭により低迷しましたが、MMAモノマー、溶剤関係が好調に推移。韓国向けオプトスクリーンが期後半になり伸長。

<ポパール・エパールカンパニー>

売上高は 197 億円。前期比 + 26 億円、+ 15.0% の増収となりました。

- ・ ポパールは、主力の自動車フロントガラス中間膜用途が引続き堅調に推移。
- ・ 「エパール」は、期中に住宅減税措置の駆け込み需要もあり壁紙用フィルムが大幅増収。その他の用途も全般に堅調。
- ・ ビニロンフィルムは、引続き国内及びアジアにおける液晶市場の旺盛な需要に支えられ大幅増収。

<KT化工・XAカンパニー>

- ・ ベルト事業、放射線防護具事業ともに、新製品の開発及び新規用途の開拓も着実に進み、堅調に推移。

4. 平成16年度経営方針

平成16年度は、国内経済が緩やかな回復基調にあるといわれていますが、地方経済の低迷や中堅・中小企業の景況感の悪さで、全体的にはまだまだ回復とはいいい難いと見ております。今年度は、環境の激変に耐えうる強靱な企業体質を目指すスタートの年と位置付けし、以下の課題を着実に遂行していくことに注力していきます。

1. 中国の各拠点を足がかりとした貿易拡大
2. 衣料事業の本格的再生
3. 連結貢献型の固有ビジネス（クラレグループ周辺商品・非クラレ商品）の拡大
4. リスク管理の再徹底

上記の課題を更に深耕強化して業容を拡大するとともに、当社独自の付加価値加工ビジネスの構築・展開に努めて参ります。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期(第43期) (15.4.1 ~ 16.3.31)	前期(第42期) (14.4.1 ~ 15.3.31)	増 減
営業収益			
売上高	106,689	100,603	6,086
営業費用			
売上原価	99,744	94,000	5,744
(売上総利益)	(6,945)	(6,602)	(342)
販売費及び一般管理費	5,232	4,949	282
営業利益	1,712	1,652	60
営業外収益	55	64	8
営業外費用	112	115	3
経常利益	1,655	1,600	54
特別損失	174	754	579
税引前当期純利益	1,480	845	634
法人税、住民税及び事業税	743	480	263
法人税等調整額	63	72	8
法人税等計	679	408	271
当期純利益	800	437	363
前期繰越利益	1,181	810	371
当期未処分利益	1,982	1,247	734

貸借対照表

(単位:百万円)

資 産 の 部			
科 目	当 期 (16.3.31現在)	前 期 (15.3.31現在)	増 減
(資 産)			
流 動 資 産	41,166	43,880	2,713
固 定 資 産	1,228	706	521
有形固定資産	677	213	464
無形固定資産	35	42	7
投 資 等	515	451	64
資 産 合 計	42,395	44,587	2,191

負 債 及 び 資 本 の 部			
科 目	当 期 (16.3.31現在)	前 期 (15.3.31現在)	増 減
(負 債)			
流 動 負 債	32,103	31,656	447
固 定 負 債	2,845	6,432	3,587
負 債 合 計	34,948	38,089	3,140
(資 本)			
資 本 金	2,200	2,000	200
資 本 剰 余 金	3,059	3,059	-
資本準備金	461	3,059	2,598
その他資本剰余金	2,598	-	2,598
利 益 剰 余 金	2,173	1,438	734
株 式 等 評 価 差 額 金	13	0	13
資 本 合 計	7,446	6,497	948
負 債 及 び 資 本 合 計	42,395	44,587	2,191

分野別売上状況他

(1)分野別売上高

(単位:百万円)

		H.16.3月期		H.15.3月期		増 減	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	伸長率
繊維	衣 料	26,163	24.5%	32,454	32.3%	6,291	19.4%
	資 材	15,743	14.8%	15,919	15.8%	176	1.1%
	計	41,907	39.3%	48,373	48.1%	6,466	13.4%
化学品	化学品	43,155	40.4%	35,352	35.1%	7,803	22.1%
化成品	化成品	14,982	14.1%	12,311	12.3%	2,671	21.7%
	その他	6,646	6.2%	4,567	4.5%	2,079	45.5%
	計	64,783	60.7%	52,230	51.9%	12,553	24.0%
合 計		106,689	100.0%	100,603	100.0%	6,086	6.1%

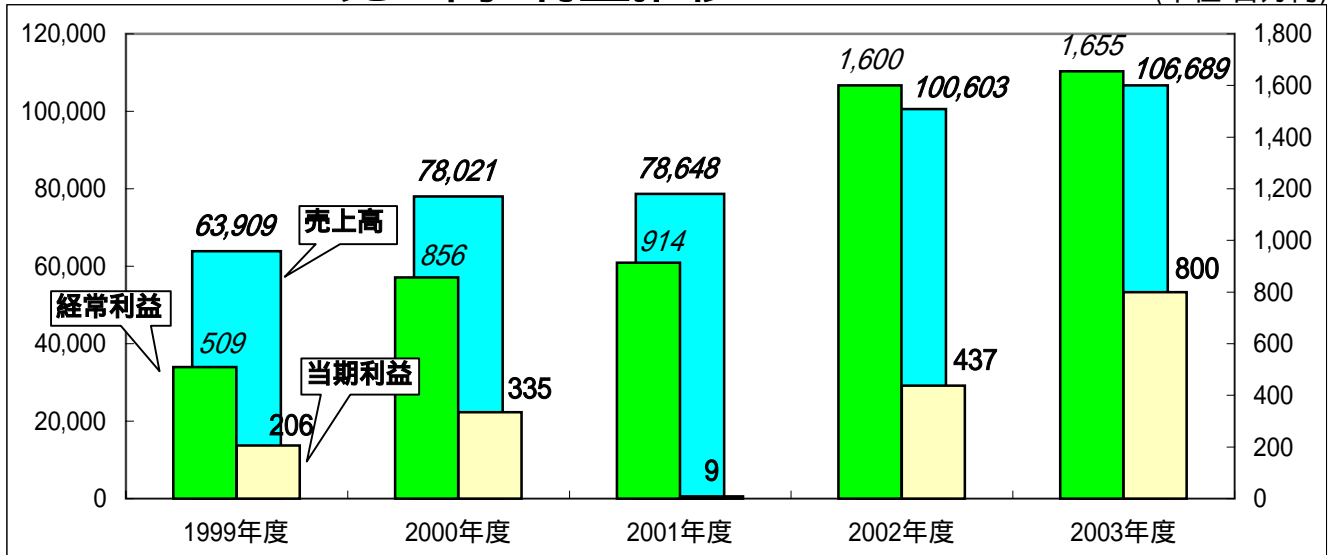
(2)事業所別販売状況

(単位:百万円)

		H.16.3月期		H.15.3月期		増 減	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	伸長率
東 京		44,713	41.9%	43,585	43.3%	1,128	2.6%
大 阪		61,977	58.1%	57,018	56.7%	4,959	8.7%
合 計		106,689	100.0%	100,603	100.0%	6,086	6.0%

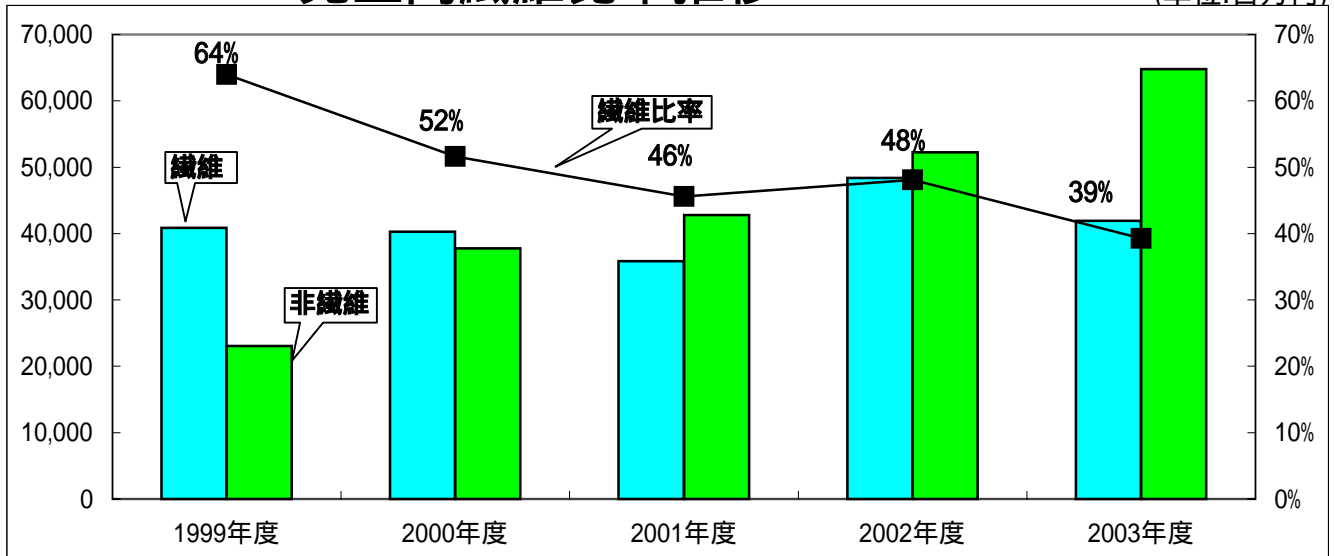
売上高・利益推移

(単位:百万円)

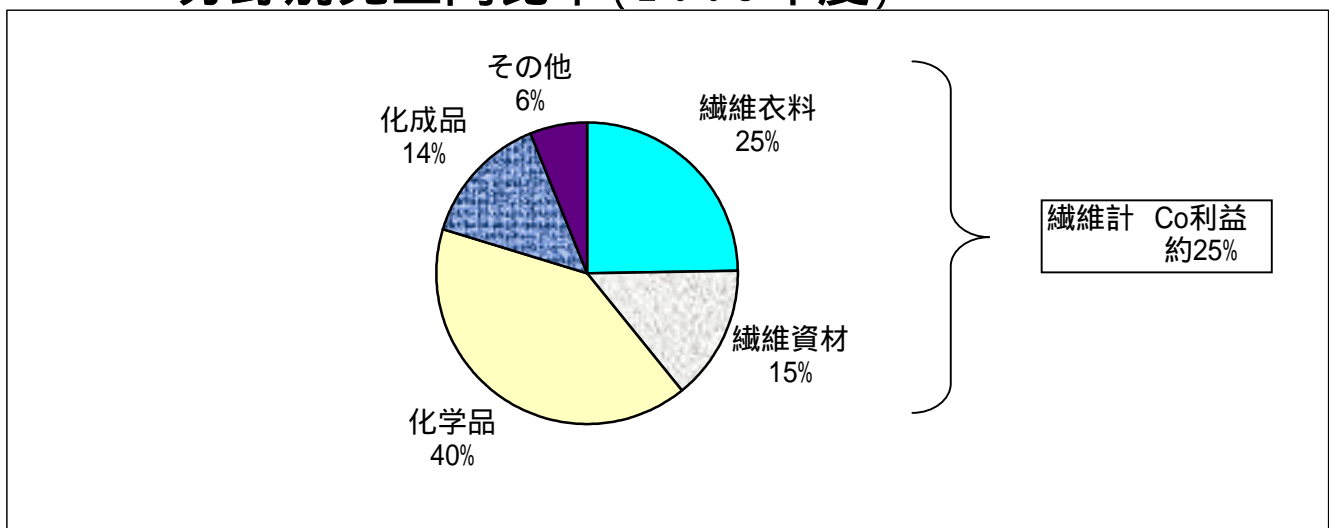


売上高繊維比率推移

(単位:百万円)



分野別売上高比率(2003年度)



会 社 概 要

会 社 名	クラレトレーディング株式会社		
住 所	大阪市中央区平野町二丁目 5 番 4 号	TEL. 06-6226-9011	
	東京都中央区日本橋三丁目 8 番 2 号	TEL. 03-5202-2690	
代 表 者	牧 野 充 伸		
資 本 金	2 2 億円		
株 主	株式会社 クラレ (1 0 0 % 出 資)		
社 員 数	3 1 4 名 (2 0 0 4 年 3 月 3 1 日 現 在)		
年 商	1 , 0 6 7 億円 (2 0 0 4 年 3 月 期)		
事 業 内 容	衣料関連製品、繊維資材、化学関連製品等のメーカー商社		
事 業 所	本社 大阪事業所 (大阪市中央区平野町)		
	本社 東京事業所 (東京都中央区日本橋)		
	本社 大阪事業所別館 (大阪市中央区道修町)		
	海外 現地法人 可樂麗貿易(上海)有限公司 (中国)		
	事務所 台北事務所 (台湾)	香港事務所 (中国)	
		ハノイ事務所 (ベトナム)	ジャカルタ事務所 (インドネシア)
	岡 山 工 場 (岡山県)		
関 連 会 社	株式会社クラレプランニングシステム (日本)		
	南通可樂托蓄服装有限公司 (中国)		
	可樂麗魔術粘扣帶(上海)有限公司 (中国)		
	上海華展倉庫貿易有限公司 (中国)		
	P . T . Indo Bell Garmentama (インドネシア)		

以 上

役員の異動（発令日 04年株主総会日）

（ 1 ）昇任予定

常務取締役

専務取締役 河野 市三郎

（ 現当社社長補佐 兼 化学品化成品部門長
兼 資材化成品カンパニー長 ）

取締役

常務取締役 小林 信明

（ 現当社東京営業部門長 兼 東京事業所長 ）

（ 2 ）新任取締役候補者

取締役

畑 拓夫 （ 現当社生活産業部門長補佐 兼 株式会社クラレ
クラベラ事業部長 ）

取締役

竹村 耕二郎 （ 現当社東京営業部門副部門長 兼 樹脂・化学
品カンパニー長兼アクリル製品部長 ）

（ 3 ）新任監査役候補者

監査役（非常勤）榎原 通正（ 現株式会社クラレ 監査室業務主管 ）

（ 4 ）退任予定

監査役（非常勤）畠中 豊（ 現株式会社クラレ 監査室長 ）

以上